

## 女の一生 (1967)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1967/11/11

### 【解説】

ギイ・ド・モーパッサンの名作文学『女の一生』を、戦後の信州に舞台を置き換え、野村芳太郎が映画化。野村と森崎東、山田洋次が脚本を担当している。中でも岩下志麻と左幸子の演技は高い評価を受けた。

長い療養生活を終え、久しぶりに家に戻った名家の一人娘の伸子。戦死した兄の友人である御木宗一と知り合い、ついに結婚を迎えた。しかし宗一が財産目当てで結婚したこと、そして無類の女好きであることを知り、伸子はショックを受ける。宗一が女中を妊娠させたため、伸子は彼女とその子供に金を与えた。自分も妊娠し子供を産んだ伸子は、宗一への愛情を完全に失い、子育てだけを生き甲斐にするようになった。東京から来た彦根と妻の里枝が伸子の家に入入りするようになり、宗一は里枝に魅了される。だが不倫現場を見つけられた宗一は、夫の彦根に射殺されてしまった。

### 【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 白井昌夫

原作 ギイ・ド・モーパッサン Guy de Maupassant 「女の一生」

脚本 野村芳太郎

森崎東

山田洋次

撮影 川又昂

美術 梅田千代夫

音楽 林光

出演 岩下志麻

栗塚旭

田村正和

竹脇無我

宇野重吉

左幸子